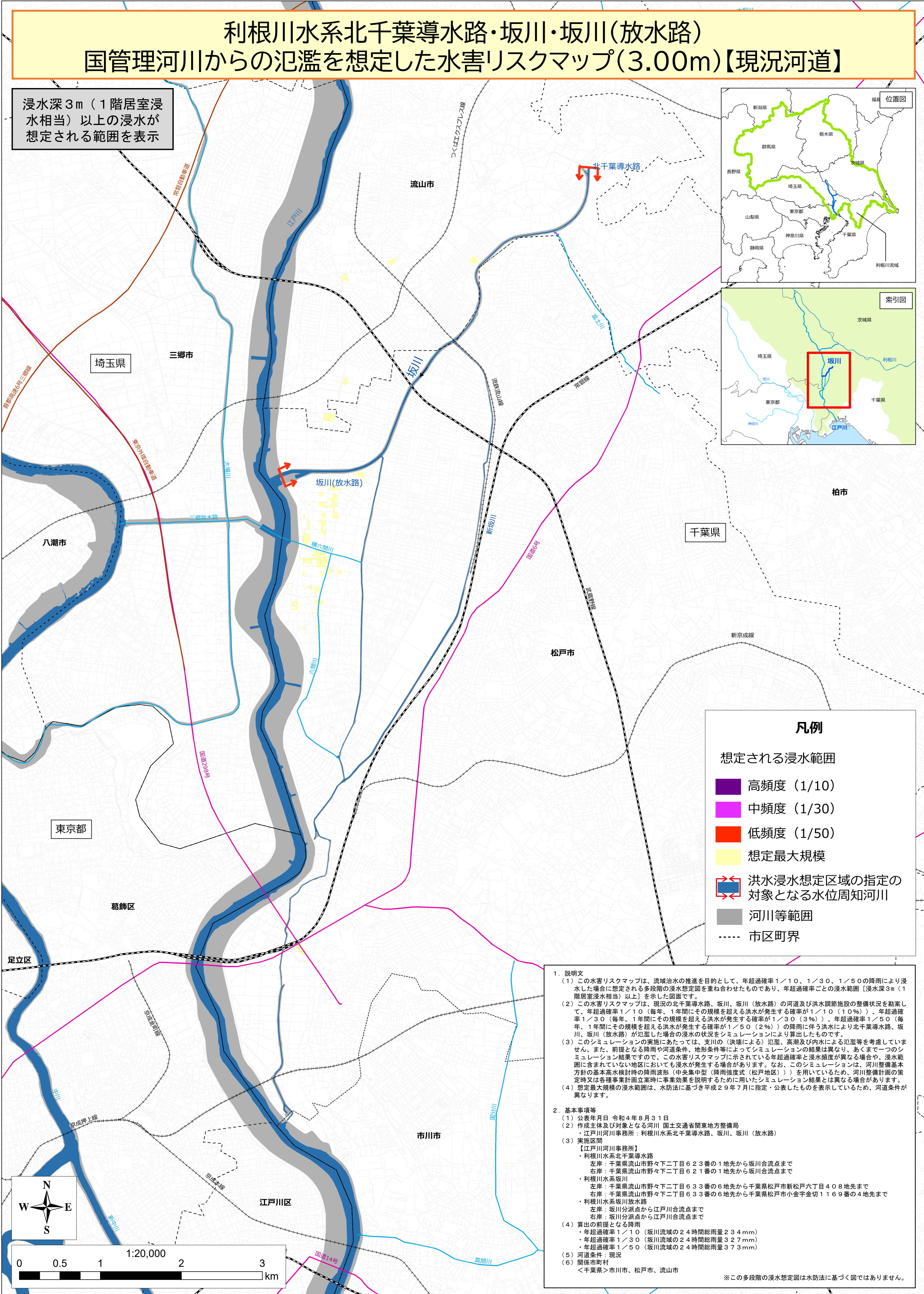


利根川水系北千葉導水路・坂川・坂川(放水路) 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ(3.00m)【現況河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



凡例

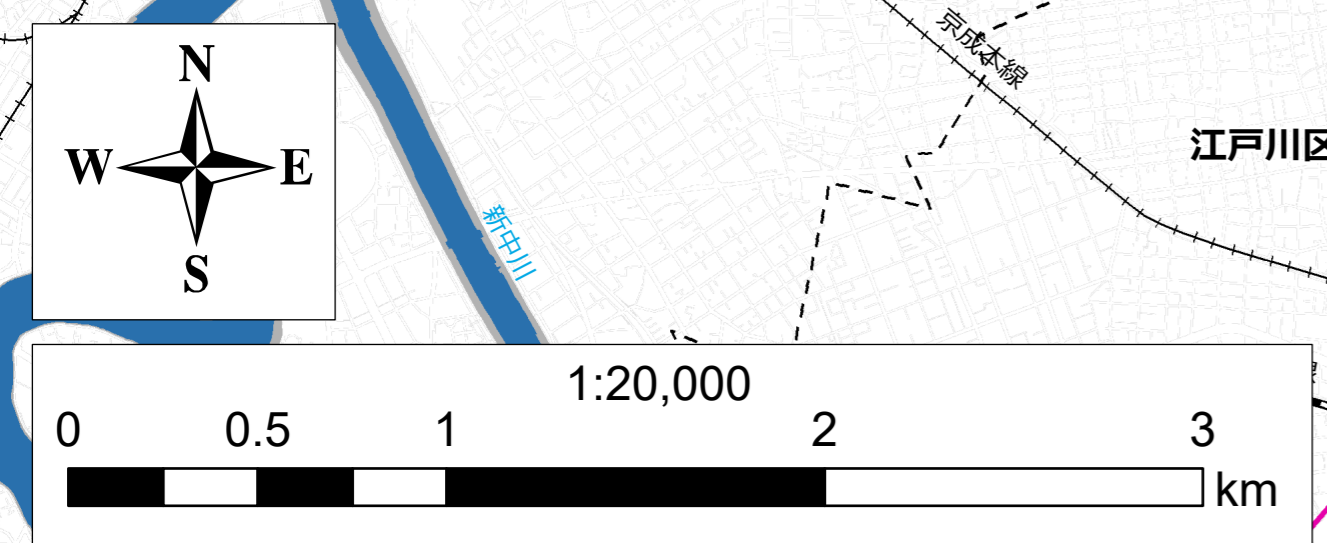
想定される浸水範囲

- 高頻度 (1/10)
- 中頻度 (1/30)
- 低頻度 (1/50)
- 想定最大規模
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
- 河川等範囲
- 市区町界

1. 説明文
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
 (2) この水害リスクマップは、現況の北千葉導水路、坂川、坂川(放水路)の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により北千葉導水路、坂川、坂川(放水路)が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(中央集中型(降雨強度式(松戸地区)))を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年7月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和4年8月31日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省関東地方整備局
 ・江戸川河川事務所：利根川水系北千葉導水路、坂川、坂川(放水路)
 (3) 実施区間
 【江戸川河川事務所】
 ・利根川水系北千葉導水路
 左岸：千葉県流山市野々下二丁目623番の1地先から坂川合流点まで
 右岸：千葉県流山市野々下二丁目621番の1地先から坂川合流点まで
 ・利根川水系坂川
 左岸：千葉県流山市野々下二丁目633番の6地先から千葉県松戸市新松戸六丁目408地先まで
 右岸：千葉県流山市野々下二丁目633番の6地先から千葉県松戸市小金字金切1169番の4地先まで
 ・利根川水系坂川放水路
 左岸：坂川分派点から江戸川合流点まで
 右岸：坂川分派点から江戸川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨
 ・年超過確率1/10(坂川流域の24時間総雨量234mm)
 ・年超過確率1/30(坂川流域の24時間総雨量327mm)
 ・年超過確率1/50(坂川流域の24時間総雨量373mm)
 (5) 河道条件：現況
 (6) 関係市町村
 <千葉県> 市川市、松戸市、流山市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。



※この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。[測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4JHs 306]